

## 講師のご紹介

### メインファシリテーター



フィールド・フロー株式会社 代表取締役  
一般社団法人OSTi 副代表理事 渋谷 健 氏

外資系コンサルティングファーム、国内大手企業経営戦略室を経て2014年にフィールド・フロー株式会社を設立。「事業脚本家」「ファシリテーター」として、北九州e-PORT構想2.0の立上、コワーキングスペース秘密基地の展開、福岡市まちあるきオープンデータソンなどさまざまな事業の立ち上げを手掛けている。その経験をもとにイノベーション創出に向けての実践指導を行うことができる。

### トップ専門家

#### 株式会社URUU 代表取締役 江上 広行 氏

1989年金沢大学経済学部卒業後、地方銀行に入行。株式会社電通国際情報サービスを経て、株式会社URUUを設立。2018年12月JPBV「価値を大切に金融実践者の会」を設立し、日本における持続可能な金融ビジネスモデルを実現すべく活動を行っている。

#### クウジツ株式会社 代表取締役 末吉 隆彦 氏

1992年ソニー株式会社入社。ソフトウェアプロジェクトリーダーとして、VAIO C1などのノートパソコン商品化に尽力。2005年よりソニーCSL)でPlaceEngineサービス立ち上げと企画運営。2007年ソニーCSLから初のスピアアウトベンチャーとして、クウジツ株式会社を設立。

#### 日本テクノロジーソリューション株式会社

##### 代表取締役社長 岡田 耕治 氏

甲南大学経営学部卒業後、(株)ビジネスコンサルタントに入社。1999年、父親から事業継承したブラウン管検査装置ビジネスから、自社ブランド製品開発・販売へ業態転換を果たす。「テクノロジーマーケティング」「第二創業」「新分野進出」「事業化プロデュース」などをキーワードに、新規事業開発プロジェクトの指導を行うことができる。

#### 滋賀医科大学 バイオメディカル・イノベーションセンター

##### 特任教授 小笠原 敦 氏

1988年ソニー株式会社超LSI研究所入所。本社R&D戦略部シニアR&Dマネジャー、CTO補佐を歴任。産総研、理研の研究コーディネーター、文科省文部科学事務官、科学技術政策研究所科学技術動向研究センター長を経て、2015年12月より現職。現在は大学、糖尿病の病態遷移、脳血管への影響の疫学的研究も行っている。

#### 株式会社Naked Bulb

##### 代表取締役 長尾 景紀 氏

大手広告会社にて、流通・食品業界のマーケティングを経験後、新規ビジネスモデル構築を行う。その後開発型ベンチャーに参画(COO)し、食品保存技術の研究開発、特許戦略、チャンネル構築、資本政策など企業経営に携わる。現在は株式会社Naked Bulbの代表取締役として、新規事業・スタートアップのコンサルティング、エンジェル投資家としてスタートアップのインキュベーション事業を展開。

#### 九州大学大学院 経済学研究院

##### 教授 高田 仁 氏

九州大学工学部卒業後、大手メーカー、株式会社先端科学技術インキュベーションセンター(CASTI、現東大TLO)取締役副社長兼COOを経験。2009年より九州大学ロバート・ファン/アントレプレナーシップ・センターの設立に参画し、アントレプレナーシップ教育に携わる。日本からのイノベーション創出に向け、「アントレプレナーシップとは、現状維持に対する挑戦」と教育に情熱を傾けている。

#### 株式会社チームAIBOD

##### 代表取締役社長 松尾 久人 氏

九州大学大学院卒業後、日本アイ・ビー・エム株式会社入社。その後、2016年に株式会社チームAIBOD設立。情報技術の発達で急速な変化が起きている現在、新しい技術を適用し、グローバルで勝負できるプラットフォームを開発し、これからの社会を牽引するといわれるシェアリングエコノミーの開拓者となるべく活動を行っている。

### 受講対象

新事業立ち上げ、起業を志す35歳前後までの方

### 開催時期

2021年7月～2021年12月(全12回) 10時～17時30分

### 定員

25人 300,000円(税込) / 人

※20名に満たない場合、延期または中止させていただく可能性があります。

### 申し込み締め切り

一次締め切り 2021年5月14日(金)

最終締め切り 2021年5月28日(金)

※定員に達した時点で締め切らせていただきます。

### 会場

ナゴヤ イノベーターズ ガレージ 名古屋市中区栄3-18-1(ナディアパーク 4階)

地下鉄名城線「矢場町駅」下車 5・6番出口より徒歩5分

地下鉄東山線「栄駅」下車 7・8番出口より徒歩7分

<https://garage-nagoya.or.jp/about/access/>

※ 基本は現地集合型の開催を予定しておりますが、新型コロナウイルス感染拡大の状況により、一部Web会議へ変更する可能性があります。

### 申し込み方法

受講希望の方は、会社名(大学名)、氏名、メールアドレス、電話番号を「ビヨンドザボーダー」事務局(beyond@garage-nagoya.or.jp)までご連絡をお願いします。後日メールにて、受講申し込みに必要な書類(受講申込書/エントリーシート)をお送りいたします。受講に関しましては、審査のうえ、受講確定とさせていただきます。

### お問い合わせ先



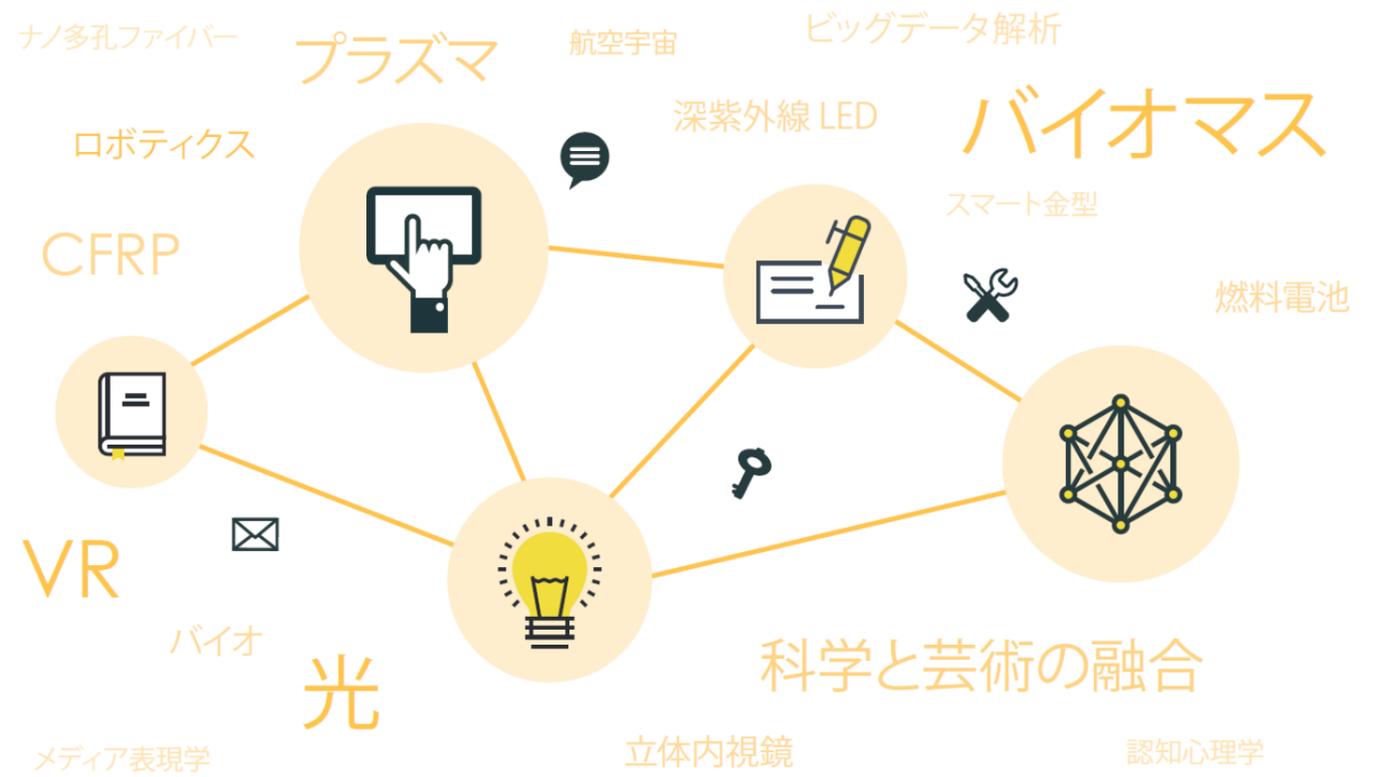
INNOVATOR'S  
GARAGE

### 一般社団法人中部圏イノベーション推進機構

〒460-0008 名古屋市中区栄 3-18-1(ナディアパーク 4階)

Web <https://garage-nagoya.or.jp/program/p3144/>

E-mail [beyond@garage-nagoya.or.jp](mailto:beyond@garage-nagoya.or.jp)

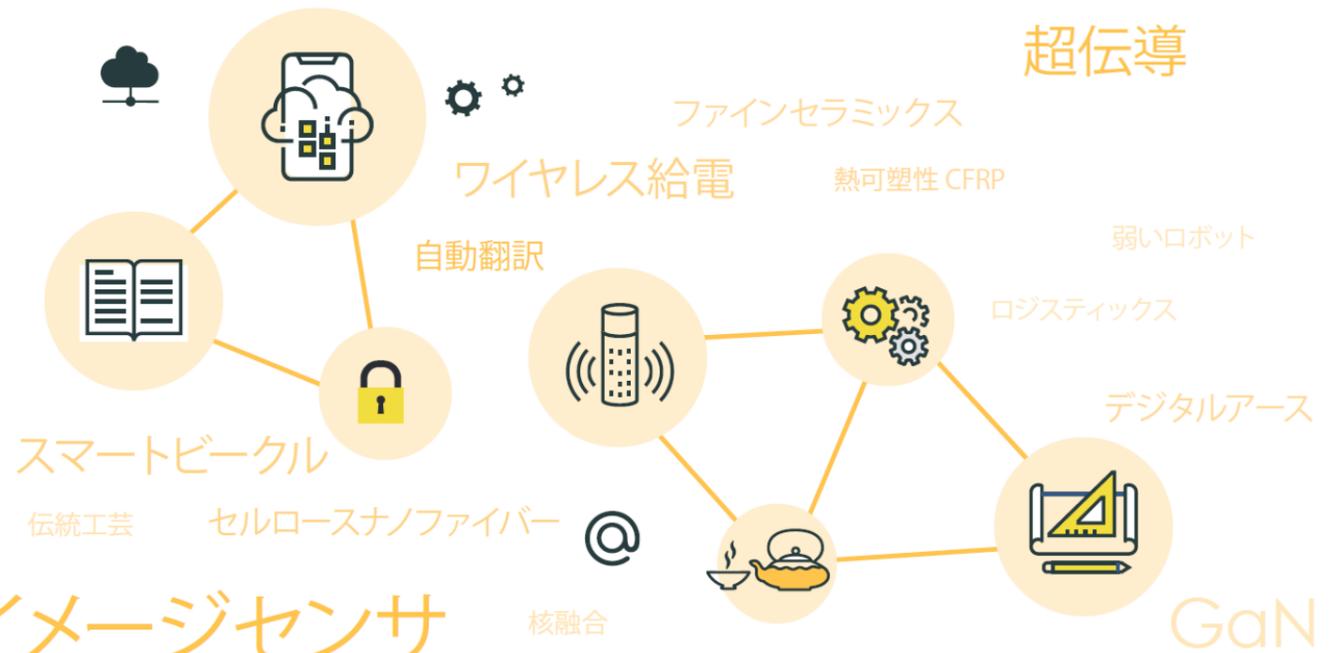


# INNOVATION

## イノベーションドライバー育成プログラム

### 「ビヨンドザボーダー」 第5クール

### 蓄電デバイス



# イノベーションドライバー育成プログラム 「ビヨンド ザ ボーダー」

技術の急速な進展に伴い、社会・産業構造が大きく転換していく中、広い視野と高い見識を持ち、新たな価値を生み出すビジネスを創造できる人材が求められています。  
**“ビヨンド ザ ボーダー”**は、共通基盤技術の理解・深化、未来社会の構想、異分野融合による共創を通じて、新たな価値の創造を力強く推進していく「イノベーションドライバー\*」を育成し、ネットワークをつなげていくプログラムです。

\*イノベーションドライバー: 起業や新規事業開発、既存事業の画期的な改革を推進していく人

## プログラムの全体像

起業や社内ベンチャー、新規事業開発、既存事業の画期的な改革を推進していくリーダーを育成

|    |  |
|----|--|
| 目的 | <ul style="list-style-type: none"> <li>共通基盤技術、新しい未来・社会の構想力、共創の考え方の修得</li> <li>グループワークを通じた幅広いネットワークの構築</li> </ul> |
| 対象 | イノベーション・起業への熱い想いのある方(若手中心)   |



全12回、3段階のプログラム(各回朝10時から17時30分)

| 内 容                                  |   |
|--------------------------------------|---|
| STEP 1<br>(全3回+オンライン講座)<br>ナレッジストレッチ | AI、IoTやロボティクスなどの共通基盤技術に関する知識を深め、シーズ(技術・ノウハウ)や自らのポテンシャルを認識したイノベーション創出の手法を学ぶ。<br><br>各分野のトップ専門家と交流しながら、ニーズ(需要)起点とシーズ起点の双方の新規事業創出の考え方を学び、実践する。   |
| STEP 2<br>(全4回)<br>ミライデザイン           | 社会的課題や身近な困りごとに関する認識を醸成し、将来技術も俯瞰しながら未来構想をするための考え方を身につける。   |
| STEP 3<br>(全5回)<br>ビジネス<br>コ・クリエーション | 社会的課題解決を視野に、分野が異なるチームメンバーのコアコンピテンシー(※競合他社が容易にマネできない能力)、共通基盤技術等の活用によるビジネスプラン(事業計画)の作成を通じて、新たな価値創造を目指す。<br><br>STEP1、2で創出された「イノベーションの種」について深く掘り下げる。また、講師からの実践指導を受けることで、より具体的なビジネスプランへとブラッシュアップしていく。 |

## ナレッジストレッチ (7月~9月)

- ▶ AI、IoTやロボティクスなどの共通基盤技術に関する知識を深め、シーズや自らのポテンシャルを認識したイノベーション創出の手法を学ぶ

STEP 1

## ミライデザイン (7月~10月)

- ▶ 社会的課題や身近な困りごとに関する認識を醸成し、未来構想をするための考え方を身につける

STEP 2

|                           | 第1回 STEP1  | 第2回 STEP2  | 第3回 STEP1                              | 第4回 STEP2                             |
|---------------------------|--|--|--|---------------------------------------|
| AM<br>(10時<br>-12時30分)    | イントロダクション<br>事業創造への<br>マインドチェンジ                      | 社会課題を捉えるための<br>ワークショップ                                 | 社会課題からイノベーションの<br>種を見つける①<br>デザインシンキング | 社会課題からイノベーションの<br>種を見つける②<br>フィールドワーク |
| PM<br>(13時30分<br>-17時30分) | フィールド・フロー株式会社<br>代表取締役<br>一般社団法人OSTi 副代表理事<br>渋谷 健 氏 | 株式会社URUU<br>代表取締役 江上 広行 氏<br>クウジツ株式会社<br>代表取締役 末吉 隆彦 氏 | 株式会社Naked Bulb 代表取締役<br>長尾 景紀 氏        | 株式会社Naked Bulb 代表取締役<br>長尾 景紀 氏       |

|                           | 第5回 STEP1                                  | 第6回 STEP2                                  | 第7回 STEP2   |
|---------------------------|--|--|---|
| AM<br>(10時<br>-12時30分)    | Change & Challenge①<br>(ビジネスアイデアの創造)       | Change & Challenge②<br>(ビジネスアイデアの創造)       | イノベーションのための<br>ビジネスデザイン                           |
| PM<br>(13時30分<br>-17時30分) | 日本テクノロジー<br>ソリューション株式会社<br>代表取締役社長 岡田 耕治 氏 | 日本テクノロジー<br>ソリューション株式会社<br>代表取締役社長 岡田 耕治 氏 | フィールド・フロー株式会社 代表取締役<br>一般社団法人OSTi 副代表理事<br>渋谷 健 氏 |

起業家マインド、共通基盤に関する知識習得のため、全12回の講座以外に2時間のオンライン講義を3回開催

|     | STEP1 オンライン講義 ①   | STEP1 オンライン講義 ②  | STEP1 オンライン講義 ③  |
|-----|---|--|--|
| 2時間 | イノベーション創出の土台となる<br>アントレプレナーシップ<br><br>九州大学大学院 経済学研究院<br>教授 高田 仁 氏 | 将来の科学技術の動向<br><br>滋賀医科大学バイオメディカル・<br>イノベーションセンター<br>特任教授 小笠原 敦 氏 | 共通基盤技術(AI、IoT)の<br>最新動向<br><br>株式会社チームAIBOD<br>代表取締役社長 松尾 久人 氏 |

## ビジネス コ・クリエーション (10月~12月)

- ▶ 社会的課題解決を視野に、分野を異にするチームメンバーのコアコンピテンシー、共通基盤技術等の活用によるビジネスプランの作成を通じて、新たな価値創造を目指す

STEP 3

|                           | 第8回   | 第9回 | 第10回 | 第11回 | 第12回  |
|---------------------------|---|-----|------|------|-------|
| AM<br>(10時<br>-12時30分)    | ファシリテーターによる実践指導~社会的課題解決に向けた新規事業創出~<br>STEP1、2で創出された「イノベーションの種」について、<br>チームメンバーのコアコンピテンシー、共通基盤技術などの活用を検討し、<br>同時に講師からの実践指導を受けることで、ビジネスプランへブラッシュアップしていく |     |      |      | 成果発表会 |
| PM<br>(13時30分<br>-17時30分) | フィールド・フロー株式会社 代表取締役<br>一般社団法人OSTi 副代表理事<br>渋谷 健 氏   |     |      |      |       |

\*各回、必要に応じて、事前・事後課題が出される場合があります。  
\*プログラムの日程・内容・講師は変更になる場合があります。